

一緒に作りましょう！
広島県大学共同リポジトリ
(HARP)



広島県大学共同リポジトリ委員会

森保 信吾・野村 香代子・末田 紀雄

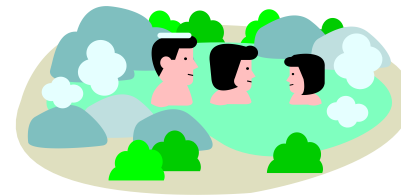
広島県大学図書館協議会研修会議資料

ある図書館員の悩み

…どちらに進むべきか？…

効能: 社会的価値向上

スパ次世代



効能: 特になし

**ぬるまゆ
温泉**



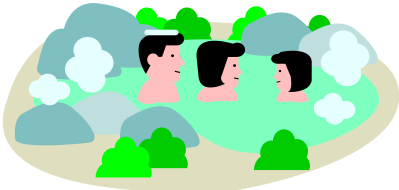
リポントリ峠



第3の選択肢

効能: 社会的価値向上

スパ次世代



効能: 特になし

ゆるまゆ
温泉



共同新道
リポートリ峠



共同フットキャン
プ



お悩み解決

共同リポジトリとは

- 複数の大学で生産された教育研究成果物を、一つの共同サーバに蓄積・保存し、発信するリポジトリ
- 世界の事例
 - White Rose Research Online (英国)
<http://eprints.whiterose.ac.uk/>
 - RECERCAT (スペイン)
<http://www.recercat.net/>
 - SHERPA-LEAP(英国)
UCL(University College London)によるシステムのホスティング
- 日本の事例
 - 長崎、山形などで地域リポジトリの構想

広島県大学共同リポジトリ立上げの狙い

- リポジトリ構築・運用のハードルが下がる
 - 構築運営費用は参加機関数に反比例
 - 構築のためのノウハウを共有できる
- オープンアクセスの裾野が広がる
- 単独運営に比べてより多くの研究者の目に触れる機会が増える
- 参加大学図書館間の連携がより高まる
- 国内の共同リポジトリの先駆的事業

メリット

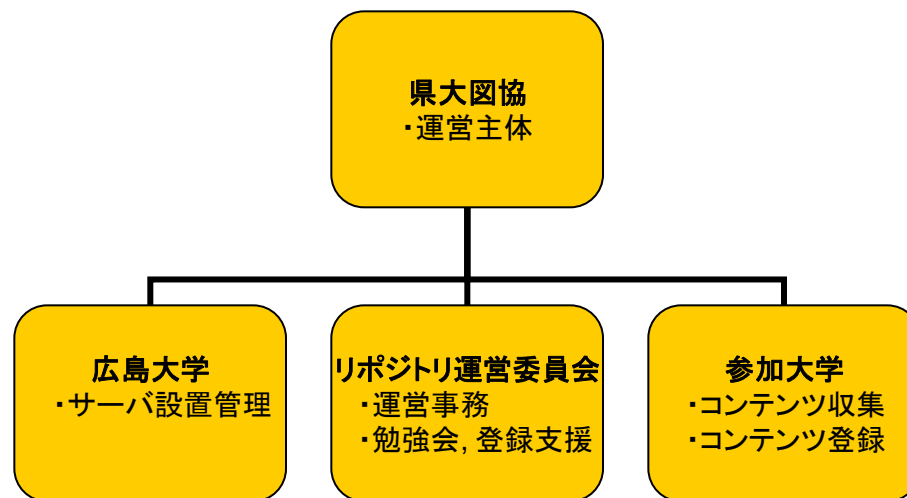
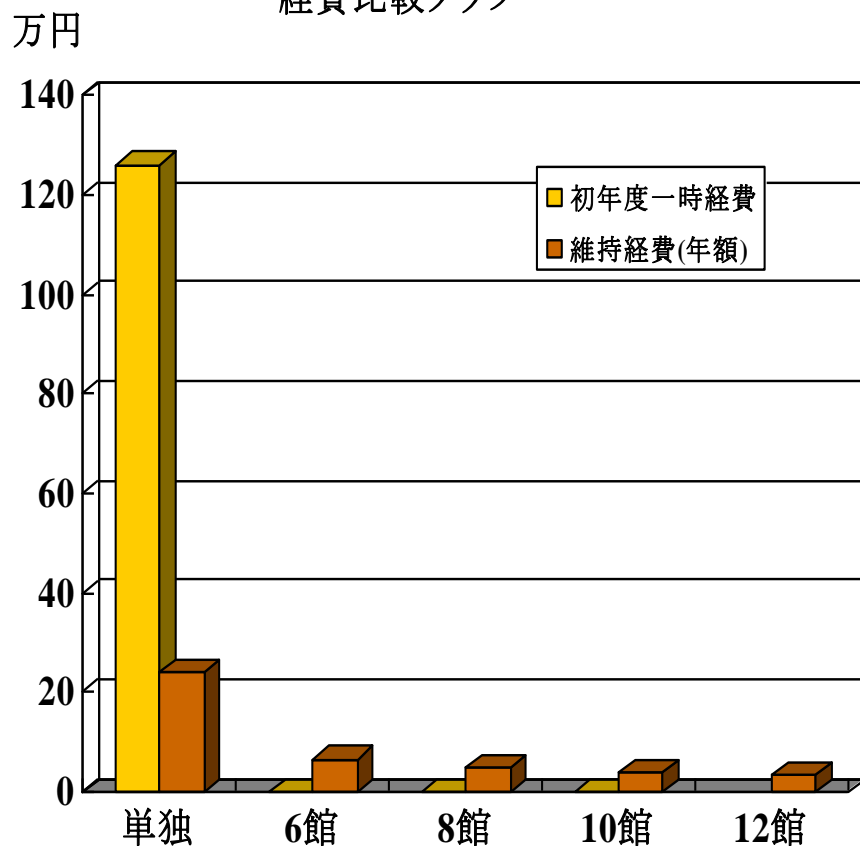
- 高いコストパフォーマンス
 - CSI委託事業と共同構築のおかげで費用負担はわずか
 - 紀要を電子化すれば経費削減・ILL受付の減少
- サーバの管理不要
 - サーバは広島大学に設置
- 勉強会による知識の共有や登録作業支援
 - 共同構築のためノウハウの共有・情報交換
メーリングリストなど登録作業での協力体制
- 県大図協による運営
 - リポジトリ委員会が管理、勉強会などを行う
 - 個々の大学はコンテンツ収集・登録に集中できる

単独IRと共同IR 経費予想比較

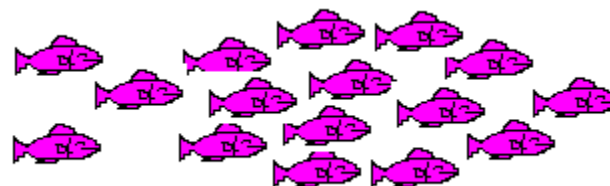
	単独IR	広島県大学共同IR	
	1機関あたり	1機関あたり	全体
機器購入費	30万～	なし	48万(CSI事業経費)
導入・カスタム費	100万～	なし	未定(CSI事業経費)
保守費(ソフトウェア)	年額24万～	10機関の場合 2.4万～	年額24万～
機器更新等積立	なし	10機関の場合 1.5万～	年額15万
コンテンツ作成費	規模に応じる (0円～)	規模に応じる (0円～)	
合計	約150万～	10機関の場合 3.9万～	

セールスポイント

経費比較グラフ



集まると目に留まる



収集方針・ノウハウ・登録の実際

紀要を例に・・・

□ 大学紀要の需要

■ REFORM報告書

http://cogsci.l.chiba-u.ac.jp/REFORM/Final_Report/reform_final_report.html

□ 紀要の収集ノウハウ

■ 紀要編集委員会と協議し、著作権規定の整備

■ 権利者を明確にして、リポジトリ掲載の許諾を得る

■ 紀要印刷業者から別途PDFで納入してもらう

■ 従来の紀要公開ページとリンクすればアクセスの窓口が広がり、リポジトリの保存機能を生かした効率的な管理が可能

□ 登録の実際

■ 評価用サイトで実演 <http://harp.cc.it-hiroshima.ac.jp/dspace>

広島県大学共同リポジトリ(HARP)

- 参加想定大学数（構築実験勉強会参加 8大学）
 - 初年度：10大学以上で正式運用を開始したい(2008.4予定)
 - 将来：県大図協の全大学にリポジトリを
- システム
 - DSpace
- 収集範囲
 - 学術資料全般(各大学の方針に任される)紀要・グリーン論文・教材etc.
- 登録作業・著作権
 - 勉強会を予定・メーリングリストの活用
 - 紀要など権利関係のクリアな部分から登録を始める

経緯と今後のスケジュール(I)

2006.10.30	<p>第1回ミーティング (於 広島大)</p> <ul style="list-style-type: none">広島大学を中心に、広島経済大・広島修道大・広島女学院大・安田女子大・広島市立大・広島国際大・広島工業大の8大学により、リポジトリシステム構築の運営上・技術上の知識を蓄積・共有し、共同リポジトリの可能性を探る実験プロジェクトHARP (Hiroshima Associated Repository Project)を立ち上げる「機関リポジトリ概要」 「H i R概要」 「システムの現状」 「著作権」 講義及び今後の計画協議
2006.11.27	メーリングリスト立ち上げ (広島大)
2006.12.12 2007.1.23	<p>実験サーバ立ち上げ (広島工業大)</p> <ul style="list-style-type: none">DSPACE http://harp.cc.it-hiroshima.ac.jp/dspace/XooNIps http://harpir.cc.it-hiroshima.ac.jp/xoops/html/
2007.1.29	<p>第2回ミーティング (於 広島経済大)</p> <ul style="list-style-type: none">日本赤十字広島看護大が加わり、9大学参加「コンテンツ収集方法」 講義・実習・今後の計画協議

経緯と今後のスケジュール(II)

2007.3.15	岡山大学担当者との情報交換会
2007.3.30	本稼動用サーバ購入(広島大:CSI事業経費)
2007.4	18年度CSI事業優良事例に • http://www.nii.ac.jp/irp/info/2006/CSIH18report.pdf
2007.5.11	県大関協事前幹事会 • 費用シミュレーション • 委員会の設置・正式事業化議案の総会提出を決定
2007.6.20	第3回ミーティング(於 広島経済大) • XooNIps登録実習・評価 • 理解獲得・参加館の拡大を意図しての説明プランの策定
2007.7.3	18年度CSI事業報告会(報告:広島大学)
2007.7.5	県大関協総会 • 正式事業化・委員会の設置が承認
2007.7.11-13	学術ポータル担当者研修参加(広島女学院・広島国際大学・広島工業大学)

経緯と今後のスケジュール(II)

2007.7.31	第1回広島県大学共同リポジトリ委員会(於 広島大) <ul style="list-style-type: none">・ 広島経済大学(委員長)・広島大学・広島市立大学・広島工業大学・広島国際大学・広島女学院大学・ 申し合わせ事項(案)策定・活動計画・保守業者選定
2007.9.25	県大図協研修会 <ul style="list-style-type: none">・ IR概要説明・研究者からの意見・共同IR勧誘プレゼン
2007.10.10	著作権講演会
2007.10.12	第1回参加募集締め切り
2007.11	広報テンプレート・マニュアル作成、ウェブサイト検討
2007.12	HARP第4回ミーティング <ul style="list-style-type: none">・ コンテンツ収集・登録開始
2008.3	第2回参加募集締め切り
2008.4	正式公開

世界中の研究者・論文読者

閲覧・ダウンロード

Google等から検索

広島県大学共同リポジトリ HARP

各大学の研究成果を無償で公開

労力と費用を
シェアして
リポジトリの構築を！

管理・運営：
広島県大学図書館協議会
共同リポジトリ委員会

費用：
参加大学で等分（保守費のみ）

参加大学の仕事は
コンテンツを集めて登録するだけ

サポート：HARP勉強会

A
大学

B
大学

C
大学

D
大学

共同リポジトリを一緒に作りましょう

□ **勉強会・メーリングリストに参加しませんか**

今後の予定

- 著作権講演会(10月)
- DRF地域ワークショップ(11月-12月)
- HARP勉強会(12月)

個別説明にも伺います

問合せ先

Tel: 082-424-6228 Fax:082-424-6211

(広島大学図書館学術情報リポジトリ主担当)

広島県大学共同リポジトリ加入申込み

広島県大学図書館協議会事務局より、
参加募集を行います。

第1回しめきり : 2007年10月12日(金)

第2回しめきり : 2008年 3月頃の予定

加入申込み先

(広島県大学図書館協議会事務局)